

News Release



(別添)

2022年10月27日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中 部 支 所

Noチェック、Noリユース！

～ 安全に使うための5つのチェックポイント ～
(東海4県版)

NITE (ナイト) が収集したリユース品 (中古品) ※1の事故情報※2は、東海地方4県 (静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県) では、2017年度～2021年度までの5年間に合計47件あり、被害状況は、重傷1件 (2%)、軽傷4件 (8%)、人的被害を伴わない物的被害のみでは、拡大被害30件 (64%)、製品破損12件 (26%) となっています。また、47件中42件 (89%) で火災※3が発生しています。

- (※1) 本資料では、中古品販売店で購入したもの、インターネットオークション及びインターネット通販で購入した中古品、譲渡されたもの、中古住宅などに既設で設置されていたものなどを「リユース品」(メーカー等の専門業者による分解・整備・清掃された製品を含む) と呼びます。
- (※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故 (ヒヤリハット情報 (被害なし) を含む)。
- (※3) 火災は、消防により火災認定されているもの。

1. リユース品の製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1にリユース品の製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 リユース品の「県別」及び「年度別」の事故発生件数 (単位: 件) ※4

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計	(参考) 全国合計
2017年度	0	6 (6)	2 (2)	2 (2)	10 (10)	77 (60)
2018年度	5 (4)	8 (6)	1 (1)	1 (1)	15 (12)	59 (47)
2019年度	2 (2)	2 (2)	1 (1)	4 (4)	9 (9)	72 (64)
2020年度	1 (1)	4 (4)	3 (3)	0	8 (8)	34 (28)
2021年度	0	4 (2)	1 (1)	0	5 (3)	37 (30)
合計	8 (7)	24 (20)	8 (8)	7 (7)	47 (42)	279 (229)

(※4) () は、火災件数

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 にリユース品の製品事故の「県別」及び「被害状況別^{※5}」の事故発生件数を示します。

表 2 リユース品の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）^{※4}

被害状況 ^{※5}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	0	1	0	0	1
	軽傷	1 (1)	3 (3)	0	0	4
物的被害	拡大被害	4 (4)	14 (14)	6 (6)	6 (6)	30
	製品破損	3 (2)	6 (3)	2 (2)	1 (1)	12
被害なし		0	0	0	0	0
合計		8 (7)	24 (20)	8 (8)	7 (7)	47 (42)

(※4) () は、火災件数

(※5) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 東海 4 県の入手方法別、製品別 事故発生件数

表 3 にリユース品による「入手方法別」の「製品別」事故発生件数を示します。

表 3 リユース品の「入手方法別」の「製品別」事故発生件数（単位：件）

	知人等からの譲渡	中古品販売店	インターネット	既設	ネットオークション	その他	合計
パソコン	0	3	4	0	0	0	7
エアコン	1	3	0	1	0	0	5
冷蔵庫	2	2	0	0	0	0	4
バッテリー・電池	1	0	1	0	1	0	3
音響機器	1	2	0	0	0	0	3
電気ストーブ	2	0	0	0	0	1	3
電子レンジ	1	1	0	1	0	0	3
その他電気器具	2	0	0	0	0	0	2
配線器具	0	0	1	1	0	0	2
その他	7	5	0	2	0	1	15
合計	17	16	6	5	1	2	47

2. リユース品の製品事故の事件事例

(1) バッテリーパック（ノートパソコン用）：充電中のパソコンから出火。

2018年5月（岐阜県、20代・男性、拡大被害（火災））

【事故内容】

ネット通販で購入したノートパソコンを充電中、バッテリーパックから出火した

【事故原因】

非純正品のバッテリーパック内のセル6本のうち1本が内部短絡して異常発熱し、焼損したものと推定される。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】 パソコン、非純正、バッテリー

(2) 電気ストーブ：使用していない電気ストーブから出火。

2019年4月（三重県、年代不明・性別不明、拡大被害（火災））

【事故内容】

壁コンセントに接続されていたが、使用されていなかった電気ストーブから出火し、電気ストーブ及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故原因】

電源コードが別製品のものに交換されており、その電源コードが途中で手より接続^{※7}されていたため、手より接続部で絶縁破壊が生じて短絡し、出火したものと推定される。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】 電気ストーブ、手より

(※7) 手より接続：リングスリーブやコネクタ等の専用の接続器具を用いず、電線同士を手でねじってつなげただけの接続。経年変化で銅線表面が酸化しやすく、また、ねじれた部分が緩みやすいため、接触抵抗が高まり発熱する恐れがある。

事故品・事例を確認

一般消費者用検索ツール「SAFE-Lite」のご紹介

NITEはホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「SAFE-Lite（セーフ・ライト）」のサービスを行っております。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称（製品）に関連する事故の情報が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>

3. 製品事故の実験映像等について

製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITE のロゴ “nite”」
としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-5-1 名古屋合同庁舎第 2 号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 浅井 幹夫

担当者 : 横山、横田

電 話 : 052-951-1933、FAX : 052-951-3902